美郷町と国際教養大学

連携協力協定を締結

このたび、美郷町と国際教養大学は、それぞれが保有する資源や機能等を活用した相互交流等を進め、異文化体験による国際理解を深めるとともに、美郷町の地域活性化に資することを目的に連携協力協定を締結しました。

美郷町と教育機関との連携協定は、秋田大学と秋田県立大学に続き3例目となります。

■協定書を取り交わし、握手をする
松田町長（写真左）と中嶋学長（写真右）

協定締結式は12月17日に役場庁舎で行われ、町議会議員や町教育関係者、町内観光・商工・福祉団体の代表者ら33名が出席し、松田町長と中嶋嶺雄国際教養大学学長が協定書を取り交わしました。松田町長は、「地域の一体感の醸成には町民のコミュニケーションが欠かせない。視野の広い国際感覚を持った学生と連携することによって、町に新しい刺激や気づきを与えてくれることを期待している。今回の連携協力協定を契機に、より一層の地域発展に努めたい」と述べ、中嶋学長は、「地域と大学との連携では、講演会の開催を通じて大学が持つ知識や技術などを紹介する場合が多い。しかし、地域の中にも自然や文化などの素晴らしい特徴はある。今後は、双方向の交流ができるよう体制を整えたい」と話しました。

町では今後、国際教養大学と次のような事項に協力して取り組み、地域活性化を図っていきます。

【国際教養大学との取り組み事例案】

- 町内園児・児童・生徒および町民と国際教養大学の学生との交流
- 伝統文化等の資源を活用した町の地域づくり事業への、国際教養大学の学生の参加　など

金沢小学校閉校記念式典

ありがとう 森の学校

12[illegible]た。

式典では加藤校長が「森の学校という愛称で親しまれ、保護者の方や地域の方々からの支えがあって、これまで歩みを続けることができた。『何事にも力いっぱいやり遂げる』という気持ちを大事に、全校児童94名とともに閉[illegible]の移り変わりや学校行事、部活動の写真を紹介。金沢小学校138年の歴史を振り返りました。

その後は、毎年、学習発表会で上演している「もりっこぼんでん物語」の集大成を披露。児童全員が暗唱できるという詩「モリノガッコウ」の群読や、地域の方々への感謝を込めた歌の発表[illegible]べ、[illegible]

閉校記念式典日程

仙南東小学校
平成25年２月17日㈰
千畑南小学校
平成25年３月３日㈰
千屋小学校
平成25年３月９日㈯